

関西ワールドマスタースゲームズ 2021 への支援について

平成28年11月

一般財団法人関西ワールドマスタースゲームズ2021
組織委員会



関西ワールドマスターズゲームズ 2021 への支援

【担当省庁】文部科学省、スポーツ庁、文化庁、総務省、内閣官房、警察庁、国土交通省、観光庁

2021年5月15日、関西の広い地域を舞台に、生涯スポーツの国際総合競技大会であるワールドマスターズゲームズがアジアで初めて開幕します。スポーツへの関心が高まりつつある今日、日本国中からスポーツの愛好者が集い、マスターズスポーツの先進地である欧米やニーズが潜在するアジア各国の参加者とともに競い、交流を育む機会となります。

2014年12月に設立した「一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会」では、大会を通じた生涯スポーツ社会の実現、国際交流の促進と関西・日本の伝統・文化の世界への発信、スポーツツーリズムによる地域活性化の促進などを大会基本理念とし、その実現に向けた種々の取組を実施し、関西はもとより、全国各地のスポーツイベントを通じて発信しているところです。

関西ワールドマスターズゲームズ2021は、「スポーツ・フォー・ライフの開花」をテーマに、多種多様な地域・世代から大会史上最大の国内外5万人の参加者を得て開催をめざす新しい生涯スポーツの祭典で、今年10月には、関西8府県4政令市において開催する32競技55種目とその会場地を決定したところです。その成果は単に日本国内に止まらず、またその成功は、スポーツ立国、文化立国、観光立国をめざすわが国にとっても大きな意義があり、一億総活躍社会の実現をも加速することが期待できます。

とりわけ、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを「みる」ことによって高まるスポーツの機運を、2021年ワールドマスターズゲームズでの「する」スポーツにつなげることにより、さらには大会のレガシーとして多様なスポーツ活動を「ささえる」仕組みづくりを促進することにより、わが国において湧き上がるスポーツムーブメントの具現化や生涯スポーツ社会の実現に向け、絶好の機会になると考えています。

については、この大会の成功に向け、国に対し、次のとおり提案いたします。

1 国家的プロジェクトとしての位置づけ

本大会の開催について、国においても、スポーツ国際戦略会議等を通じ、関係省庁への大会周知に取り組んでいただいたところであるが、本大会の成功は、スポーツ立国、文化立国、観光立国をめざすわが国にとっても大きな意義があり、一億総活躍社会の実現をも加速することが期待できる。

このことから、本大会が、国の施策の一環として種々の支援を得られるよう、スポーツ基本計画をはじめとする国の計画に盛り込むなど、生涯スポーツの振興を図る上での国家的なプロジェクトとして明確に位置付けていただくことをお願いしたい。

2 ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックと一体となった取組の推進

本大会は、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックのレガシーをいち早く具現化する機会になるとともに、本大会固有のレガシーを遺すものであり、わが国の生涯スポーツ振興において、大きな契機ともなるものである。

これらの意義を踏まえ、スポーツ庁を中心に、関係省庁が一丸となった支援体制を整備し、本大会を通じて、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを国民に提供するとともに、大会運営の経験やノウハウを共有するための人的交流、競技用具やシステムの有効活用に加え、国内外での広報活動やボランティア育成など共通する各般の分野の取組について、連続する3大会に対して一体的かつ相乗的な支援及び協力をお願いしたい。

3 準備段階からの国等による財政支援等

本大会を成功させ、実り多いものとするためには、財政基盤を強固なものとする必要がある。本組織委員会では、最小のコストで最大の効果を得るように計画するが、開催に当たっては、国の様々な財政支援が不可欠である。

特に、スポーツ振興くじの活用においては、既存の制度による限定的な助成をいただいているところであるが、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックと同様に、大会の前年と開催年に加え、準備段階から助成が得られ、かつ既存枠を超えた助成対象となる大会と明確に位置付け、必要な財政支援及び協力をお願いしたい。

また、各府県政令市による競技の開催や、地方の資源を活かした参加者をおもてなしするプログラム等は、地域創生の一層の推進に資することから、宝くじの活用や寄付金付き記念切手の発行などによる財政的な支援をお願いしたい。

さらに、地方交付税措置のある地方債が認められた東京オリンピック・パラリンピックへの支援と同様に、各府県政令市で大会開催の拠点となる公立スポーツ・文化施設の機能向上等を図るため、地方交付税措置のある地方債の創設をお願いしたい。

4 世界の人々が感動する大会の開催とスポーツツーリズムの実践

世界から集う参加者は、競技への参加とともに、訪日観光も大きな目的とすることから、スポーツと観光を融合させたスポーツツーリズムによる地域の活性化が大いに期待され、観光立国を目指すわが国にとっても大きな意義がある。

そのため、大会の開催やスポーツツーリズムの取組を万全の準備で進め、わが国での開催にふさわしい満足感や感動を与えられるよう、関西はもとより、わが国の誇る文化・観光資源やおもてなしの精神で参加者を歓迎したいと考えている。

国においても円滑なC I Q体制やセキュリティ対策に配慮いただくとともに、多言語やバリアフリー対策の推進、交通アクセスや通信、宿泊環境の整備、さらに、海外からの参加者への医療・防災対応などについて、国家的な観点から必要な条件整備への配慮をお願いしたい。

5 働き方改革による大会参加を促す環境づくり

本大会は、30歳以上のスポーツ愛好家が参加する国際総合競技大会であり、本大会をわが国の生涯スポーツ振興の大きな契機とするため、特に現役世代の国民が、幅広く参加できる環境づくりが肝要である。

については、長時間労働の是正や有給休暇、ボランティア休暇の取得促進を図る働き方改革やポジティブ・オフの取組を積極的に推進するとともに、「スポーツ休暇制度」の創設や大型連休の分散化など、国民が積極的かつ気軽に生涯スポーツに参加できる環境整備をお願いしたい。

平成 28 年 11 月

一般財団法人関西ワールドマスタースゲームズ2021組織委員会

会長（関西広域連合長） 井戸 敏 三

会長（公益社団法人関西経済連合会会長） 森 詳 介

滋賀県知事 三日月 大造

京都府知事 山田 啓 二

大阪府知事 松井 一 郎

兵庫県知事 井戸 敏 三

奈良県知事 荒井 正 吾

和歌山県知事 仁坂 吉 伸

鳥取県知事 平井 伸 治

徳島県知事 飯泉 嘉 門

京都市長 門川 大 作

大阪市長 吉村 洋 文

堺市長 竹山 修 身

神戸市長 久元 喜 造